「うちの裏山は崩れたことがないから大丈夫」が危ない!!

大雨による がけ崩れ 土石流に ご注意を!

6月は土砂災害防止月間です

長雨や大雨が多い6月は、土砂災害が起こりやすい時期です。狭い範囲で短時間に強く降る「局地的大雨」の発生回数は年々増加しています。

国内で毎年約1000件発生している土砂災害のうち、ほとんどは雨によるものです。気象情報などを有効に活用し、いざという時に備えましょう。

危険な場所と避難場所の確認を

土砂災害による人的被害の約9割は、過去100年程度災害のない箇所で発生しています。

さらに自然災害の死者・行方不明者の約半数は土砂災害が原因です(地震災害を除く)。

普段から家族や地域ぐるみで、がけ崩れの恐れがある場所や避難場所について話し合い、実際に自分の目で確認しておきましょう。

なお、前兆現象を見かけたときは、できるだけ早く周りの人と安全な場所に避難し、市役所にご連絡ください。

■**がけ崩れ**
前兆現象　がけから水がしみ出てきたり、斜面から小石が落ちてくる。

■**土石流**
前兆現象　山鳴りがする。急に川の水が濁り流木が混ざる。雨が降り続いているのに川の水位が下がる。

■**地すべり**
前兆現象　沢や井戸の水が急に減ったり、濁ったりし、地面に割れ目ができる。

問合せ先　危機管理室
☎072－433－7392

防災ガイドブック(令和３年７月全戸配布)は、ホームページでもご覧いただけます。

ホームページ

警戒レベル

市からの避難指示などの発令に留意するとともに、避難指示などが発令されていなくても、自ら避難の判断をしてください。

警戒レベル５では災害が発生して避難できなくなる場合もあることから、警戒レベル３や４の段階で避難することが重要です。

警戒レベル	避難情報等	避難行動等	警戒レベル相当情報(例)
警戒レベル 5	緊急安全確保 災害発生または切迫した段階で発令 〔貝塚市が発令〕	命の危険 直ちに安全確保	警戒レベル5相当情報 氾濫発生情報 大雨特別警報　等
〈警戒レベル4までに必ず避難!〉			
警戒レベル 4 全員避難	避難指示 地域の状況に応じて緊急的に避難を促す場合等に発令 〔貝塚市が発令〕	危険な場所から全員避難	警戒レベル4相当情報 氾濫危険情報 土砂災害警戒情報　等
警戒レベル 3 高齢者等は避難	高齢者等避難 〔貝塚市が発令〕	危険な場所から高齢者や障害のある人等は避難	警戒レベル3相当情報 氾濫警戒情報 洪水警報 大雨警報　等
警戒レベル 2	洪水・大雨高潮注意報 〔気象庁が発表〕	避難に備え、防災ガイドブックにより、自らの避難行動を確認	警戒レベル2相当情報 氾濫注意情報
警戒レベル 1	早期注意情報 〔気象庁が発表〕	災害への心構えを高める	

高 ↑ 危険度 ↓ 低

警報などが発令されても、警戒レベル・避難指示などの避難情報が発表されるとは限りません。

警戒レベル・避難指示などの避難情報は、気象状況や市内の被害状況などを総合的に判断して市が発令します。

◆テレホンガイド☎072―433―7119
防災行政無線の放送が聞こえなかったり、聞き取りにくかった場合、放送内容を放送後24時間程度聞くことができます。

◆土砂災害の危険が高まった場合には、市から土砂災害危険箇所が含まれる山手地域に避難指示を発令します。

◆感染症を避けるため、避難所以外に、災害の危険が少ない地域の知人・親せき宅への避難も検討しましょう。

◆時間帯や降雨の状況により、避難所へ移動することが困難で、自宅に留まらざるを得ないような場合には、がけから離れた部屋や２階以上の部屋へ移動(垂直避難)しましょう。

◆避難所へ移動する時は、食料・飲料水・マスクなどをお持ちください。

◆雨がやんだ後も、土壌雨量指数(降った雨が土壌にどれだけ貯まっているかを指数化したもの)が下がらない場合には、土砂災害の危険があるため、避難指示が継続されることがあります。

◆豪雨などの被害を最小限に抑えるためにも、大雨に備えて日頃から側溝や排水溝の掃除・屋根・壁・塀の点検など、水害に備えた準備をしておきましょう。

◆高齢者等避難・避難指示・緊急安全確保の発令は、原則、町単位で行います。

◆避難情報は、防災行政無線放送や市から発信する緊急速報メール(エリアメール)、テレビのテロップ放送、広報車巡回などでお知らせします。

緊急地震速報の訓練を行います

市では、消防庁・気象庁による全国瞬時警報システム(Ｊアラート)による緊急地震速報訓練を行います。

なお、携帯電話による緊急速報メール(エリアメール)は発信しません。

日時　６月15日(水)午前10時頃
内容　防災貝塚市から訓練放送を行います
問合せ先　危機管理室☎072－433－7392

ため池ハザードマップを作成しました

対象地区　海塚小池(海塚地内)、坂本池・フクイ池(王子地内)

ため池ハザードマップは、災害時に万が一ため池が決壊した場合に、どの程度浸水被害が発生するかを示したものです。大切な命を守ることを最優先に、安全な避難行動を各自で考えるために活用してください。

ため池ハザードマップは、ホームページをご覧ください。

ホームページ

問合せ先　農林課☎072－433－7381